



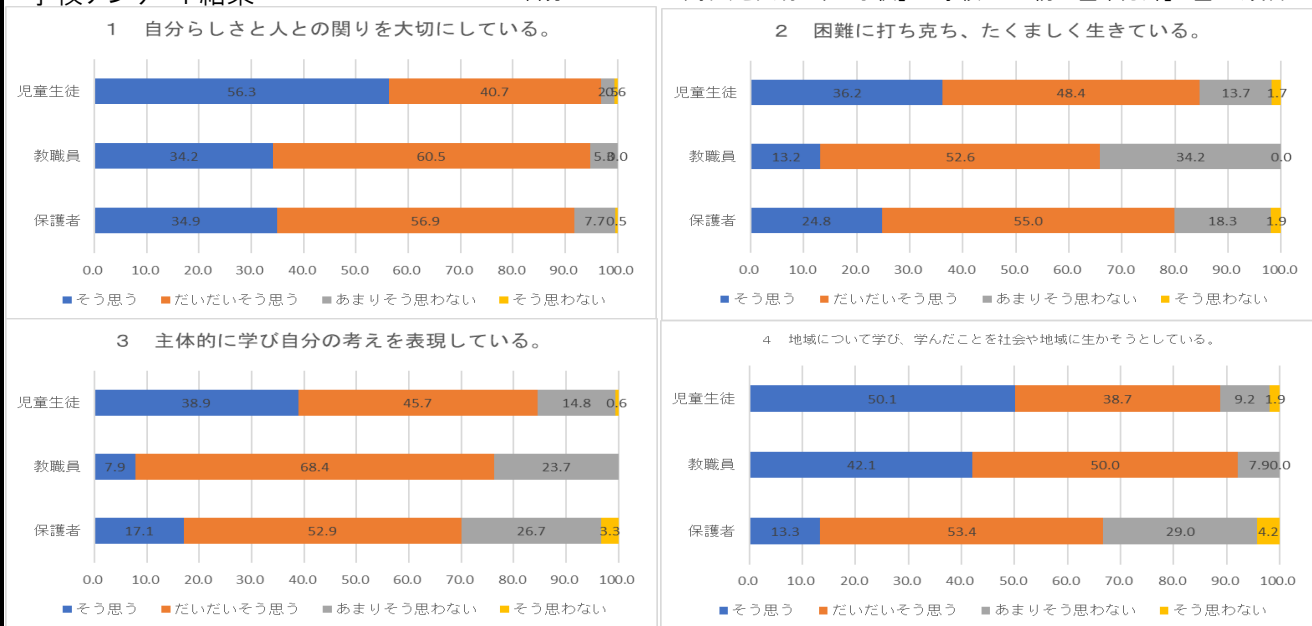
学校評価についての報告

児童生徒調査 すべての質問項目において向上しました！

保護者の皆様には、令和6年度の教育活動に御支援・御協力いただきまして、ありがとうございます。
さて、12月に実施した学校アンケート等を基に学校は自己評価（結果分析、改善方策）を行い、2月の学校運営協議会で学校関係者評価を実施しました。学校関係者評価では、自己評価について学校運営協議会委員の皆様へ説明し、熟議をしました。来年度も、施設一体型小中一貫校の良さを生かした教育活動を展開していきます。

学校アンケート結果

※「1 自分らしさと人との関わりを大切にしている」は「学校いじめ防止基本方針」に基づく項目

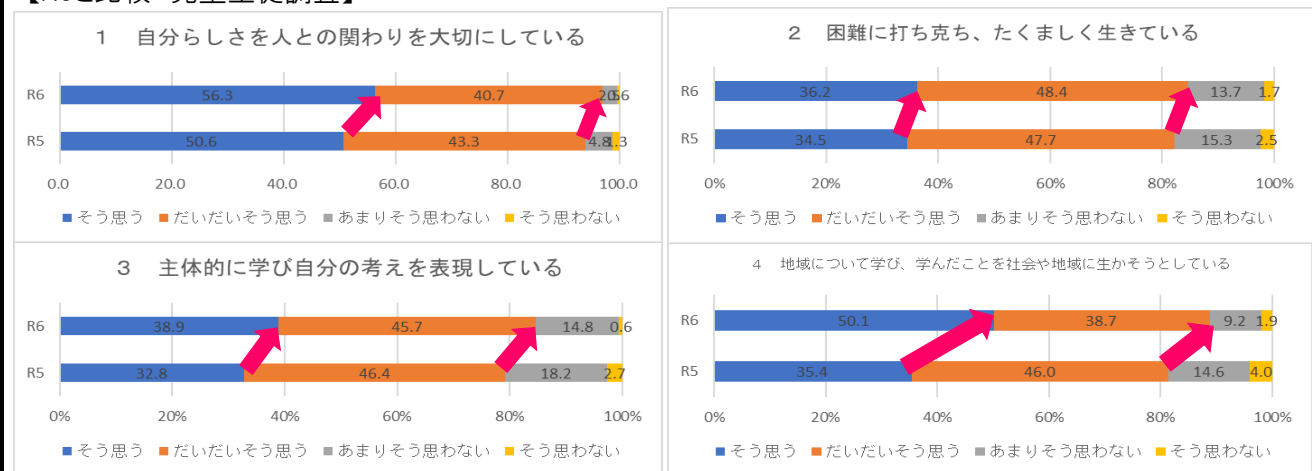


○「自分らしさと人との関わりを大切にしている」については、児童生徒、教職員、保護者とも肯定的な回答した割合が9割を超えた。

○「地域について学び、学んだことを社会・地域に生かそうとしている」については、「庄内未来研究所」等で、地域貢献をキーワードに探究活動を行ったため、児童生徒、教職員の意識は高く、肯定的な回答をした割合が高い。

・「困難に打ち克ち、たくましく生きている」「主体的に学び自分の考えを表現している」については、他の項目より、肯定的な回答の割合が低い。

【R5と比較 児童生徒調査】



「そう思う」と回答した割合、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた肯定的な回答をした割合が、すべての質問項目において増加しました！

学校アンケートを基に次の教育計画を立て、学校運営協議会で地域の方々と協議しました。

育てたい子供の姿の明確化

学校教育目標「主体的に学び協働しながら未来を創造できる市民の育成」の達成に向けて、初等部・中等部・高等部において、「主体的」「協働」を観点にした育てたい子供の姿を明確化します。

小中一貫校のよさを生かした教育活動

小中一貫校の良さを生かし1～9年生が関わりをもちながら、主体性を育んだり、リーダーシップとチームワークの向上を目指したりします。

クラウドを活用した授業の推進

クラウドを活用することで、他者の意見を瞬時に確認することができます。この利点を生かし「協働的な学び」を推進します。さらに、協働的な学びを通して、個の学びを深化させます。

協働的な学級集団の形成

「協働」を意識した学級目標を設定し、達成に向けて児童生徒が主体的に取り組むことができるように、月1回、学級目標を振り返って改善案を話し合う時間を設定します。

【学校運営協議会委員の御意見】

- ・学校教育目標そのものが庄内未来研究所の活動となっている。子供たちがしたいことをするのが特徴であり、楽しく学ぶのにこれほど素敵なものはない。ポットマム同様庄内学園の伝統になるとよい。
- ・庄内未来研究所の各課がどんな活動しているのかを、もっと地域や家庭に周知してもらうために、どのように伝えていくか考えたい。
- ・子供たちが主体的に取り組め、地域との関わりがあったため、学校アンケート「地域について学び、学んだことを社会・地域に生かそうとする」の児童生徒の回答「1 そう思う」が増えたと思われる。
- ・小学校潮鳴祭～アクティブ ダンス フェスティバル～は、自分たちで考え関わっていける様子が見られてよかった。達成感のようなものを感じられた。不安を感じる子にどのようにフォローしていくのが課題である。
- ・学校アンケート「主体的に学び自分の考えを表現している」では、地域の特徴なのか、内に秘めている子が多いのではないかと。子供たちが自分の頑張りをアピールしていけたらよい。
- ・引き続き学校にできる支援、学校がしてほしい支援を考えていきたい。

【学校関係者評価を受けて】

- ・保護者と学校が協働して子供を育てるために、懇談会等で各発達段階に応じた「育てたい子供像」を共有する。
- ・高等部の「庄内未来研究所」の成果を、地域の行事等で情報発信していく。
- ・施設一体型小中一貫校の良さを生かし、1年生から9年生までが共に学んだり活動したりすることで、多様性についての認識を深め、いじめ未然防止に努める。
- ・学校行事(大運動会、潮鳴祭)では、学校目標達成を意識し、内容等の改善を図る。
- ・クラウドを活用した授業を推進することで、児童生徒が自分に合った方法で、自分の考えを表現できるようにする。また、学び楽しさや学ぶ意義を自覚できるようにする。